

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2024年9月15日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	讃美歌54「喜びの日よ」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	讃美歌301「山辺に向かいてわれ」	一 同
教会学校	「 天 の 階 段 」	牧 師
讃 美	讃美歌187「主よいのちの」	一 同
聖書朗読	創世記28:1-5	
奨 励	創世記の福音(第25回)	牧 師
主 題	「ここは神の家、天の門」	
讃 美	讃美歌320「主よみもとに」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	讃美歌541「父、御子、御霊の」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	創世記 第29章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



〈今週の歩み〉

9/15(日) 聖日礼拝
/16(月) 敬老の日
/17(火)
/18(水)
/19(木) 8:30 OBSキヤベ、10:聖研
/20(金) 10-12: OBSクラ
/21(土) 13-16子供オプハウス



〈祈りの課題〉

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「思い煩わない信仰」

ボンヘッファ著『キリストに従う』より)

「野の花がどうして育っているか、考えて見るがよい」(マタイ6:26-33)

日々のパンをつくるのは、思いわずらいでも、労働でもなく、父なる神である。鳥やユリは働きもせず、つむぎもしない。それなのに、それらのものは、養われ、着飾っている。思いわずらうことなしに、日毎に必要なものを与えられているのである。鳥やユリは、この世の財貨を、ただその日の生活のためにだけ使い、集めようとはしない。そして鳥やユリは、自分の勤勉、労働、思いわずらいを通してではなく、神が与える賜物を毎日単純に受け取ることを通して、創造者をほめたたえる。このことによって、鳥やユリは服従する者の模範となるのである。イエスは、(労働と食事というものが、神がいなくてもそれ自身の必然性から結びつくものである)という考えを解消する。すなわちイエスは、イエスが示した道をたどり、すべてのものを神から受けようとする者の、思いわずらうことのない単純さについてだけ語り、日ごとのパンを労働の報酬として称賛するようなことはしない。

「思いわずらい」というものは、自分の力と労働にはより頼むが、神を信じようとはしない者、すなわち神により頼むことのない異邦人が持つものである。異邦人が思いわずらうのは、彼らが、(われわれがあらゆるものを必要としていることを、天の父は知っている)ということを知らないからである。それゆえ異邦人は、神に期待せず、それを自分自身でしようとするのである。先ずイエスとの交わりと、イエスの戒めに対する従順が来るのであって、そのほかのものはすべて、その後続く。それらは決して、並列的なものではなく、前後関係を持つものなのである。われわれは、自分の生活、食べ物、衣服、職業、家族について思いわずらう前に、キリストの義を追い求めなければならない。

イエスに服従する者たちは、弟子として長い歩みが続けた後に、主から「何か困ったことがあったか」と問われて、「主よ、何もありませんでした」と答えるようになるであろう(ルカ22:35)。飢えと裸、迫害と危険の中にあっても、イエス・キリストとの交わりを確信する者は、どうして窮乏を覚えることがあるだろうか。